

# 名取市文化会館 レセプショニストのご紹介

「レセプショニスト」とは、お客様のご案内をする会場スタッフのことです。具体的には会場内でのチケットの発售、パンフレットの配布、座席案内などを通じて、公演に来場されたお客様が気持ちよく過ごして頂けるよう、お手伝いをしています。

名取市文化会館では現在22名のレセプショニストが活動しています。普段よく公演を観に行く方や自身も文化芸術活動に関わっている方、ボランティアなどでレセプショニストをしている方から専業主婦、社会人など男女、世代を問わず様々な人が在籍しており、財団の主催事業などで年間を通して活躍しています。皆さんも公演へいらした際に見かけたことがある方もいらっしゃるのではないか？

普段の業務のほかには一年に一度、プロのレセプショニストを講師



にお迎えしてマナーや立ち振る舞い、案内における基本動作を学ぶ研修を行っています。また、会館で行っている消防訓練にも参加し、実際に災害発生時における避難誘導などを体験して公演時の有事に備え、ホールでの会場案内のプロとして日々スキルアップを図っています。



## 2019年度 公演スケジュール

### Art for Kids @なとりわくわくパビリオン ～昔むかしの日本であそぼ～

5月3日(金・祝)～4日(土・祝)  
10:00～15:00

入場無料  
※直接会場へお越しください。

### Art for Kids @なとりわくわく楽しい音楽会

7月15日(月・祝)中ホール 14:00開演

出 演: 西本幸弘(ヴァイオリン)  
名和俊(コントラバス)  
下路詞子(クラリネット) 他

### 避難訓練寄席

9月27日(金)中ホール 14:00開演

出 演: 六華亭遊花 他  
入場無料  
※事前申込制

### ドラゴンクエストの世界

11月3日(日・祝)大ホール 16:00開演  
出 演: 大井剛史(指揮) 山形交響楽団

### Natori Jazz Port TOKU JAZZ LIVE

11月9日(土)小ホール 18:30開演  
出 演: TOKU  
(ヴォーカリスト&フリューゲルホーンプレイヤー)  
Shiho(ヴォーカリスト) 他

### トルヴェール・クワルテットリサイタル

12月8日(日)中ホール 14:00開演  
出 演: トルヴェール・クワルテット  
(須川展也・彦坂真一郎・神保佳祐・田中靖人)  
小柳美奈子(ピアノ)

### なとりミュージックガーデン 中野振一郎 チェンバロコンサート

2020年2月1日(土)中ホール 14:00開演  
出 演: 中野振一郎(チェンバロ)

### 新・名取寄席 part7@文化会館

2020年2月23日(日)小ホール 14:00開演  
出 演: 古典芸能家



### 【交通アクセス】

・仙台空港アクセス線「杜せきのした」駅より徒歩8分

・JR名取駅より徒歩17分

※タクシーをご利用の場合はJR名取駅が便利です。

※駐車場の収容台数には、限りがございます。公共交通機関をご利用になるか、できる限り乗り合わせてご来館くださいますよう、みなさまのご協力をお願いいたします。



### 公益財団法人名取市文化振興財団

〒981-1224 名取市増田字柳田520  
TEL 022-384-8900 FAX 022-384-6684  
(第1・3火曜日を除く9:00～18:00)

ホームページ: <http://bunka.natori.or.jp/>  
Twitter Facebook 名取市文化会館



特集

## サクソフォン四重奏団 トルヴェール・クワルテットプロジェクトがスタート! 東京混声合唱団員 座談会

- レセプショニストのご紹介
- 2019年度 公演スケジュール

文化の森  
ふんかのもり

vol.50  
2019.4

# サクソフォン四重奏団 トルヴェール・クワルテット プロジェクトがスタート!

12月6日～8日の3日間、日本サクソフォン界を代表する名手・須川展也さんをプロデューサーとしてお迎えする新プロジェクトがスタートします。

須川展也さんは、ソロ、アンサンブル、オーケストラや吹奏楽など多様な演奏活動の傍ら、指導者としてもその実力を求められ後進の育成にも優れた手腕を発揮されています。

このプロジェクトは、須川さんが所属するサクソフォン四重奏団「トルヴェール・クワルテット」のメンバーと共に中ホールでのリサイタルのほか、マスタークラスやアウトリーチコンサートなど、サクソフォンの魅力をたっぷりお届けする3日間です。

名取市文化会館でのプロジェクトへ向けて須川さんへインタビューを行いました。

## ■須川さんがサクソフォンを始めた経緯、またサクソフォン奏者を目指したきっかけはどんなことでしたか？

——サクソフォンを始めたのは中学一年生の時、ジャズやムード系のサックスに魅せられてフルートから転向しました。その後は中学の音楽の授業で聴いたビギナー作曲《アルルの女》組曲で、クラシカル・サクソフォンの音に衝撃を受けました。「天から降る透明な美しい音」のイメージで多くの方々にクラシカル・サクソフォンの音を知ってもらいたい！をずっと続けて今に至ります。専門家を目指したのは高校生の時。東京藝術大学を目指しレッスンに通い、がんばりました！

## ■今回はサクソフォンのみの4人組ユニット「トルヴェール・クワルテット」として名取へいらっしゃいますが、クワルテット結成への経緯を教えてください。

——30年以上前になりますが、道行く人々にも聴いていただきたく街頭コンサートでもなんでも演奏したい！との思いを共にする彦坂くん、田中くん、僕でクワルテット結成を思いつき、我々の恩師故大室勇一先生に故新井靖志くんを紹介して頂き結成。大変悲しいのですが新井靖志くんが亡くなり、お弟子さんでもあった神保佳祐くんをメンバーに迎え入れて、今尚全力疾走中のクワルテットです。ピアノの小柳美奈子さんも結成すぐあたりから参加してもらい、アンサンブルの美しさかっこよさと個人技も披露できる幅広い表現スタイルを続けています。

## <プロフィール> 須川展也

東京藝術大学卒業。第51回日本音楽コンクール、第1回日本管打楽器コンクール最高位受賞。02年NHK連続テレビ小説『さくら』テーマ演奏。名だたる作曲家の委嘱曲がSaxの新たな主要レパートリーとして国際的に広まっている。89-2010年まで東京佼成ウインドオーケストラのコンマスを務めた。

最新CDは2016年発売の「Masterpieces」。

ヤマハ吹奏楽団常任指揮者、静岡市清水文化会館音楽アドバイザー＆マリナート・ワインズ音楽監督。東京藝術大学招請教授、京都市立芸術大学客員教授。

使用楽器：ヤマハYAMAHA YSS-875EXG



## <トルヴェール・クワルテットリサイタル>

12月8日(日) 中ホール 14:00開演

出 演：トルヴェール・クワルテット(須川展也・彦坂真一郎・神保佳祐・田中靖人)  
小柳美奈子(ピアノ)



# 東京混声合唱団員 座談会

2018年9月17日に開催された「山田和樹指揮 東京混声合唱団 名取特別演奏会」。共演の名取市立第一中学校への事前指導を担当いただいた松崎さんをはじめ、ご出演いただいた4名のメンバーに、公演の感想や合唱の魅力について伺いました。



東京混声合唱団として、先進的なことにも沢山チャレンジしている中で、合唱の魅力とはどんなところにあるのか、皆さんの想いを教えてください。

尾崎かおり(以下、尾崎)：千葉さんと二人でロビーコンサートをさせていただいて。

千葉弘樹(以下、千葉)：広い空間で気持ちよく歌わせてもらいました。

尾崎：ガラス張りで自然光が入って、音が上の方に飛んでいく感じで、響きもとても良かったです。

松崎さら(以下、松崎)：開演前、山田さん(指揮)のプレトークも急遽やったんですね。

尾崎：彼はいつもたくさんアイディアを思いつくんですけど、突然なので大変なこともありますよね(笑)。



熊谷隆彦(以下、熊谷)：山田さんは「予定調和」というのが壊れた方が落ち着くのかもしれない。私も、突然ゲネプロでソロやるように言われて、予想外のところだったから全く覚えていない、えらい目にあったことがある。

中学生との共演はいかがでしたか。

尾崎：素直な声で、少ない人数の中よく声が出ていたね。

千葉：一人一人、しっかり声が出ていたね。松崎さんは事前指導に何回行ったの？

松崎：2回です。1回目はお互いに緊張していましたが、途中で雨が土砂降りになり、それがきっかけで逆にみんなの顔が晴れ晴れして、歌声も力が抜けました。音のボールゲームでは、自分に回ってきた音を聴いて歌うというトレーニングをしました。

尾崎：それがあったからかもしれないけど、ステージでは子どもたちもバラバラの並びだったので、よく歌えていましたね。山田さんはバラバラが好きなので。

松崎：子どもたちはみんなシャイな感じで、本番はさらに緊張して硬くなっていたけど、頑張りましたね。私は、若い友達ができてすごくうれしかったです。

シアターピースの楽曲は何回も歌われていると思うのですが、萬歳流しという楽曲を歌う時の難しさや想いなどありますか。

熊谷：うち(東京混声合唱団)では結構やってるけど、世間的には皆さん全然知らないジャンルだよね、きっと。

千葉：萬歳という文化自体を知る人も少ないからね。逆に知っていると、もしかしたらちょっと歌うのがつらいというか、悲しくなってしまうかもしれない。

熊谷：由緒ある伝統芸能なのは確かだけど、背景は壮絶なものがある。

尾崎：実際は必死感とか悲壮感っていうのが、もっとあるんだと思います。



## お客様の声

山田和樹さんの指揮もさることながらユーモアのある話も楽しかったです。日本の愛唱歌は心に響くものがありますね。

国歌、愛唱歌、ポップスなど様々なジャンルの曲が聴けて合唱の魅力、素晴らしさをより深く知ることができた。

名取一中合唱部とのジョイントが素晴らしかった。



名取公演でも、指揮者である山田さん、ピアノの津田さん、共演した第一中学校合唱部の生徒たちはもちろん、会場のお客様も一緒にホールで心が一つになったように感じました。東京混声合唱団の皆さんに挑戦し届け続ける合唱と音楽の魅力、これからも楽しみにしています！

左:熊谷隆彦  
右:千葉弘樹

